

P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

担当局	広報室
担当課	広報課
課長名	鷹取
施策番号	
Ⅲ - 3 - (3) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	タウンミーティング開催事業				
	様々な政策課題について、市民と直接対話するタウンミーティングや地域ふれあいトークを開催し、市民の意見を伺うとともに、市民が市政への理解を深めることで市民と市との協働によるまちづくりを進めることを目的とする事業です。				
コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	8,000 千円	2,915 千円			課長 0.06 人 係長 0.15 人 職員 0.15 人

【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	開催時期や参加人数はテーマとなる施策・事業の内容や進捗状況と深く関わります。また、市民のまちづくりへの参画や市民との協働を進めるうえでは、開催回数や参加人数だけではなく、市民の意見をどのように把握し施策に反映させていくかが重要です。多くの市民に参加いただくとともに高い効果を得られるよう、実施方法(テーマの選定方法、規模、回数、実施場所・時間等)などについて、ひきつづき検討・見直しをしていく必要があると考えます。	見直し内容	多くの市民に参加いただくとともに高い効果を得られるよう、関係局と協議をしながら、実施方法などの検討・見直しを行い、事業を継続します。
----	-------------------	---	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	順調	
	市民	より多くの市民にご参加いただき、市民と市との協働を進めます。	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 23年度実績 下段: 24年度実績	25年度目標	25年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	意見交換、アンケート等による市民の意見の把握及び市民の市政への参画意識の向上	-	単年度目標設定なし	-	市民との協働によるまちづくりを進めるため、市政の重要テーマについて、市長が市民と直接対話し、意見を伺うことができました。
	様々な市政テーマについて市民と市長が直接対話し、市民の意見を伺うとともに、市民が市政への理解を深めることで、市民と市との協働によるまちづくりの推進を目指します。	-		%	
	(最終目標と目標年度)意見交換、アンケート等による市民の意見の把握及び市民の市政への参画意識の向上			%	
(最終目標と目標年度)			%		

活動計画	どうやって目的を達成するか	市民のまちづくりへの参画や市民の協働を進めるために、平成25年度は「(仮称)新球技場について」、「市民がつくる『環境首都・北九州』」の2つのテーマでタウンミーティングを開催します。また、「(仮称)安全・安心条例の検討について」をテーマに地域ふれあいトークを開催し、市長が皆さまと直接対話し、ご意見を伺います。実施方法(テーマの選定方法、規模、回数、実施場所・時間等)の工夫やアンケートによる満足度の把握などにより、多くの市民に参加いただくとともに高い効果を得られるよう検討を進めたいと考えています。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	順調
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 23年度実績 下段: 24年度実績	25年度目標	25年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	タウンミーティング開催回数	8 回	8 回	9 回	目標を下回ったものの総計1,239人の参加があり、多くの意見を得ることができました。意見交換を通し、市民の市政への理解を深めることができましたと考えます。
	様々な政策課題についてタウンミーティングを開催し、市民との対話の機会を設けます。	8 回		112.5 %	
	タウンミーティング参加者数	1,275 人	1,700 人	1,239 人	
タウンミーティングを通じ、より多くの市民の参加を得て、対話を図ります。	1,541 人	72.9 %			

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成25年度のタウンミーティングはテーマを2本とし、幅広い市民の方が参加できるように努めました。参加者数については目標を下回っていますが、意見交換を通して市民の市政への理解を深めることができたと考えます。市民のまちづくりへの参画や市民の協働を進めるために、政策決定における情報公開や率直なご意見を伺うことが重要であり、今後もタウンミーティング(対話集会)を通じて、政策課題について市民との意見交換を行うことにより、協働によるまちづくりに取り組みたいと考えています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	実施方法(テーマの選定方法、規模、回数、実施場所・時間等)の工夫やアンケートによる満足度の把握などにより、多くの市民に参加いただくとともに高い効果を得られるよう検討を進めたいと考えています。

P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

事業概要				担当局	広報室		
				担当課	報道課		
情報発信・取材協力事業				課長名	丸山		
				施策番号		IV - 4 - (2) - ③	
事業名	本市の知名度と都市イメージの向上を図るため、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等のマスメディアを通じた本市のPR事業				事業手法		
事業概要					<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
コスト	事業費	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額	課長 1.00 人
		38,975 千円	37,714 千円			29,000 千円	係長 1.00 人 職員 1.00 人

【Action】改善		
課題	H23年度の評価結果を受けての課題 本市の知名度、イメージ向上に一定の成果は挙げていると思われる、目立った課題はない。	見直し内容 今後は関係部局との協力を強化し、本市のさらなる知名度、イメージの向上を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	順調
	本市の知名度及び都市イメージ	各種雑誌への記事掲載、テレビ番組の放映などを通じて、環境未来都市・北九州市のアピールや、ものづくり、観光グルメ、自然などの情報を発信するとともに、市長対談やインタビューなど雑誌などに掲載することを通じて、本市のイメージアップと認知度の向上を図ります。		代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	北九州市の認知度	—	単年度目標設定なし	—	パブリシティ効果(テレビ番組誘致実績をネット料金・制作費で積算したものは26億円となり、順調に本市のイメージアップと認知度向上を図っていると考えられるため。
	北九州市の認知度と都市イメージの向上を図ります。	—		%	
	(最終目標と目標年度)都市イメージの向上	13.5 億円	単年度目標設定なし	26.0 億円	
パブリシティ効果	25.8 億円		%		
	パブリシティ効果(テレビ番組誘致実績をネット料金・制作費で積算したものの)のさらなる充実を図ります。 (最終目標と目標年度)				

活動計画	どうやって目的を達成するか 今年度のトピック的な事項に加え、グルメ・観光・自然等の情報発信を行うなど、多方面から本市のイメージアップ及び認知度の向上を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	順調	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	雑誌・新聞等掲載業務	65 件	86 件	67 件	雑誌67件、テレビ番組341件で本市情報が発信でき、全国発信の番組や媒体の企画を多く実施できたことから、順調に本市のイメージアップと認知度向上を図っていると考えるため。
	雑誌などを活用したPRを推進するため、誘致活動や各種情報発信、取材協力を行います。	101 件		77.9 %	
	テレビ・ラジオ番組放送実績	262 件	224 件	341 件	
テレビ番組等を活用したPRを推進するため、誘致活動や各種情報発信、取材協力を行います。	327 件		152.2 %		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>テレビでは、多数の全国放送の番組誘致に成功し、本市の特色あるグルメ・観光・自然等の情報を協力的に発信できたと考えます。雑誌分野でも、幅広いジャンルの全国紙と多数の企画を実施。とりわけ、北九州マラソン企画やOECD企画の実施など適時性にも優れた情報発信ができたと考えます。よって、本市の知名度と都市イメージの向上に寄与したものと考えます。</p> <p>【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>経済性と効率性を追求するため、「番組や媒体のテストに合わせた、精密な企画提案と支援」を行うことで、良質な番組や媒体を誘致することに成功し、効果的な情報発信に繋げることができました。今後も最少の費用で最大の効果があがるよう、努めます。民間活力の導入については、市が実施することで大局的な観点からの情報発信ができていたり、撮影にあたっての適切な許認可、円滑な地元調整、法令順守の体制を敷くことができ、これらを民間で行うことは難しいと考えます。よって、引き続き市が実施主体となるのが望ましいと考えます。</p>

P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

担当局	広報室
担当課	報道課
課長名	日々谷
施策番号	
IV - 4 - (2) - ③	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	()

事業概要					
事業名	映像製作誘致強化事業				
	映画・TVドラマ等のロケ誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図ります。また、支援作品やロケ地を街のにぎわいの創出や人的交流等のまちづくりに活用します。				
コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	8,953 千円	8,385 千円			課長 1.00 人 係長 人 職員 3.00 人

【Action】改善

課題	見直し内容
H23年度の評価結果を受けての課題	平成23年度も例年水準の誘致実績及び直接経済効果を上げ、本市の知名度向上に繋げることができたが、他都市もロケ誘致に力を入れていることから、引き続き誘致を積極的に推進します。
	観光客増に向けて作成しているロケ地マップや制作会社への営業ツールの改訂や、東京の制作会社への営業に加えて、海外に目を向けたプロモート活動も積極的に行っていきます。

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	順調	
	本市の知名度及び都市イメージ	映画・TVドラマ等のロケ誘致や撮影支援により、本市の知名度向上および良好な都市イメージの構築を図ります。また、撮影誘致による地域経済への貢献や支援作品・ロケ地を活用した街のにぎわい創出、将来的にはロケの定着化により地域の映像産業・雇用の創出などを目指します。	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	—	60 %	59.8 %	平成元年の活動開始以来、年度別統計として史上最高の撮影誘致・支援本数の実績を記録した。撮影隊の市内での撮影や滞在に伴う、直接経済効果は、過去最高の3億1088万円。支援作品の撮影には多くの市民が参加してくれる。エキストラとして出演いただいた方が、過去最高。市民の方が、映画づくりに携わり、非日常的な体験を楽しまれた。
	(最終目標と目標年度)北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	—		99.7 %	
	地域経済への貢献(直接経済効果)	301,955 千円	100,000 千円	310,887 千円	310.9 %
ロケを誘致し、撮影隊の本市への滞在を通じて、地域経済への貢献(直接経済効果)を高めます。 (最終目標と目標年度) 地域経済への貢献(直接経済効果)	153,220 千円				

活動計画	活動の状況	順調			
どうやって目的を達成するか 本市の知名度と都市イメージの向上のためのまちづくりに活用します。また、支援作品を活用し、街のにぎわい創出や人的交流等につなげるため、市民のエキストラ・ボランティア参加を積極的に募集します。	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック				
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	撮影支援実績	20 件	10 件	30 件	平成元年の活動開始以来、年度別統計として史上最高の撮影誘致・支援本数の実績を記録した。支援作品の撮影には多くの市民が参加してくれる。エキストラとして出演いただいた方が、過去最高。市民の方が、映画づくりに携わり、非日常的な体験を楽しまれた。
	都市イメージの向上ならびに交流人口の拡大等による地域経済の活性化、映像関連産業の集積を図るため、国内外の映画やドラマ、CMなどの撮影の誘致・支援を行います。	13 件		300.0 %	
	市民エキストラ・ボランティア参加(人的交流)	5,606 人	500 人	5,521 人	1104.2 %
支援作品を活用した「まちづくり」を行うため、エキストラ、ボランティアスタッフ等への市民の参加を促進します。	2,456 人				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成25年度は、30本(映画5本、ドラマ21本、CMその他4本)の撮影支援を行い、過去最高の誘致実績及び直接経済効果を上げることができました。これにより、本市を全国にPRし、知名度の向上に繋げることができたと考えており、順調としました。かかる成果は市民にも広く浸透してきており、一昨年市が実施した若者意識調査において、本市が自慢できるものとして「映画等の撮影」が第2位(30.5%)と非常に高い水準に達したことは、これを反映しているものと考えます。
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	直接経済効果が310,887千円に及ぶなど、費用対効果は充分にあると考えています。また、民間活力の導入については、撮影にかかる適切な許認可、地元・官公庁との円滑な調整、公益性や公平性の確保等の諸点ならびにフィルムコミッションは非営利の公的機関である必要性等から、引き続き市が実施主体となることが適切であると考えます。